

平成27年度 馬頭中学校 学校評価報告書

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標（重点は○数字）・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況				
① 潤いのある学習環境の整備し、夢を育む学校づくりを推進する。	B	教育課程の実施に当たり、校務分掌上のリーダーとの打ち合わせや振り返りを密にして組織的な対応策を講じた。	教師の情報収集を広く、深くするために教育相談や三者懇談を実施したが、携帯電話（スマートフォン）による初トラブルへの対応を町の施策とタイアップして進めていく。	授業参観や学校行事を保護者・地域の方々に公開し、開かれた学校づくりを進めてほしい・
2 創意工夫ある教育活動を展開し、生徒が伸びる学校づくりを推進する。	B	体育祭や学校祭で、生徒が主体的に取り組む達成感が得られる体験を、保護者地域の方と共有することができた。	次年度にむけてPDCAサイクルによるマネジメントを継続する。	小中の連携を強化して地域への信頼をさらに高めてほしい。
3 家庭や地域と共にあり、信頼される学校づくりを推進する。	A			
II 保護者や地域との連携に努める				
① HPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。	B	7月のPTA思春期教室や12月の家庭教育学級の内容を工夫したり、2月の親学習プログラムを取り入れたりした。保護者と教職員の連携を深めた。学校だよりやホームページによる情報発信に加え、メールによる個々への連絡が行き渡るようになった。	保護者や地域への情報発信を効果的にタビングよく行い、「地域の拠点」という評価をより多くの方にもっていただくように企画運営を進める。	体育祭や学校祭等生徒が活躍する姿を多くの人に見ていただけるよう、周知PRを継続する。
2 PTA活動や地域と関わる活動の充実に努める。	B		生徒会の取り組みとして、地域に貢献する活動を積極的に行いPRしていく。	
III 確かな学力の育成に努める				
① ねらいを明確にし、生徒が意欲的に取り組む授業づくりを実践する。	C	小中連携や中高連携、自由授業参観等授業公開を積極的に行ったり、ICT機器の活用を図ったりして、教員の授業力の向上に努めたが、まだまだ定着していない。	学習のねらいと振り返りが呼応するように職員研修を重ねているので、生徒の学力向上が図れるよう、教員の資質能力の向上を更に進める。	ドリル学習や小テスト等を全校体制で行い、成績上位者や努力がみられる生徒を賞賛する機会を多くする。
2 家庭学習の充実に努めるため、保護者への働きかけや連携を強める。	C			
IV 豊かな心の醸成に努める				
① 「あいさつ日本一」運動を実践し、心豊かな生徒を育てる。	B	「あいさつ日本一」を掲げ、あいさつから生まれる信頼づくりに努めた。学習や学校行事のなかで生徒や教職員のチーム力の向上を目指してきたが、トラブルも見られた。	規範意識を高めるために集団指導と個別指導を絡ませて積み上げてきたが、思いやりの心の醸成や的確な判断力の定着に課題が残った。道徳教育や人権教育を核に豊かな心を培う。	生徒が取り組む活動の動機付けをしっかりと行って、感謝の気持ちや思いやりが高まるようにするとよい。
2 チームでの指導を基本に、規範意識の向上に努める。	C			
V 健やかな体の育成に努める				
① 教育相談や進路相談をととして、心身ともに健康な生徒を育てる。	B	食生活や生活実態調査などを定期的に行い、健全な生活を送るよう学級担任が繰り返し指導した。また、走跳投の基礎体力や部活動技能の向上をさせるため、保護者、地域の方から協力を得た。	繰り返し練習したことがよい結果に結びつくという成功体験を得られるように、粘り強く取り組む。	目標に向かって取り組む活動だけに、些細なことや変化があったら、きめ細かく保護者と連絡を取り合うようにする。
2 目標に向かって粘り強く部活動に取り組む生徒を育てる。	B			

※「Ⅱ 保護者や地域との連携」中の「1 HPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。」については、町教育委員会が指定する目標としますので必ず含めてください。

- ・評価項目の評価欄は、各学校で設定した目標等を評価したものを総合的に評価し記入してください。
- ・各学校の目標については、できるだけ分かりやすくし文で記述してください。